



# StorageGRIDを詳しく見る

## StorageGRID software

NetApp  
December 03, 2025

# 目次

StorageGRIDを詳しく見る .....	1
グリッドマネージャーを探索する .....	1
グリッドマネージャーダッシュボード .....	1
検索フィールド .....	2
ヘルプメニュー .....	2
アラートメニュー .....	2
[Nodes]ページ .....	2
テナントページ .....	3
ILMメニュー .....	4
設定メニュー .....	4
メンテナンスメニュー .....	5
サポートメニュー .....	6
テナントマネージャーの詳細 .....	7
テナントマネージャーダッシュボード .....	7
ストレージメニュー (S3) .....	8
アクセス管理メニュー .....	9

# StorageGRIDを詳しく見る

## グリッドマネージャーを探索する

Grid Manager は、StorageGRIDシステムを構成、管理、監視できるブラウザベースのグラフィカル インターフェイスです。



グリッド マネージャーはリリースごとに更新されるため、このページのサンプルのスクリーンショットと一致しない場合があります。

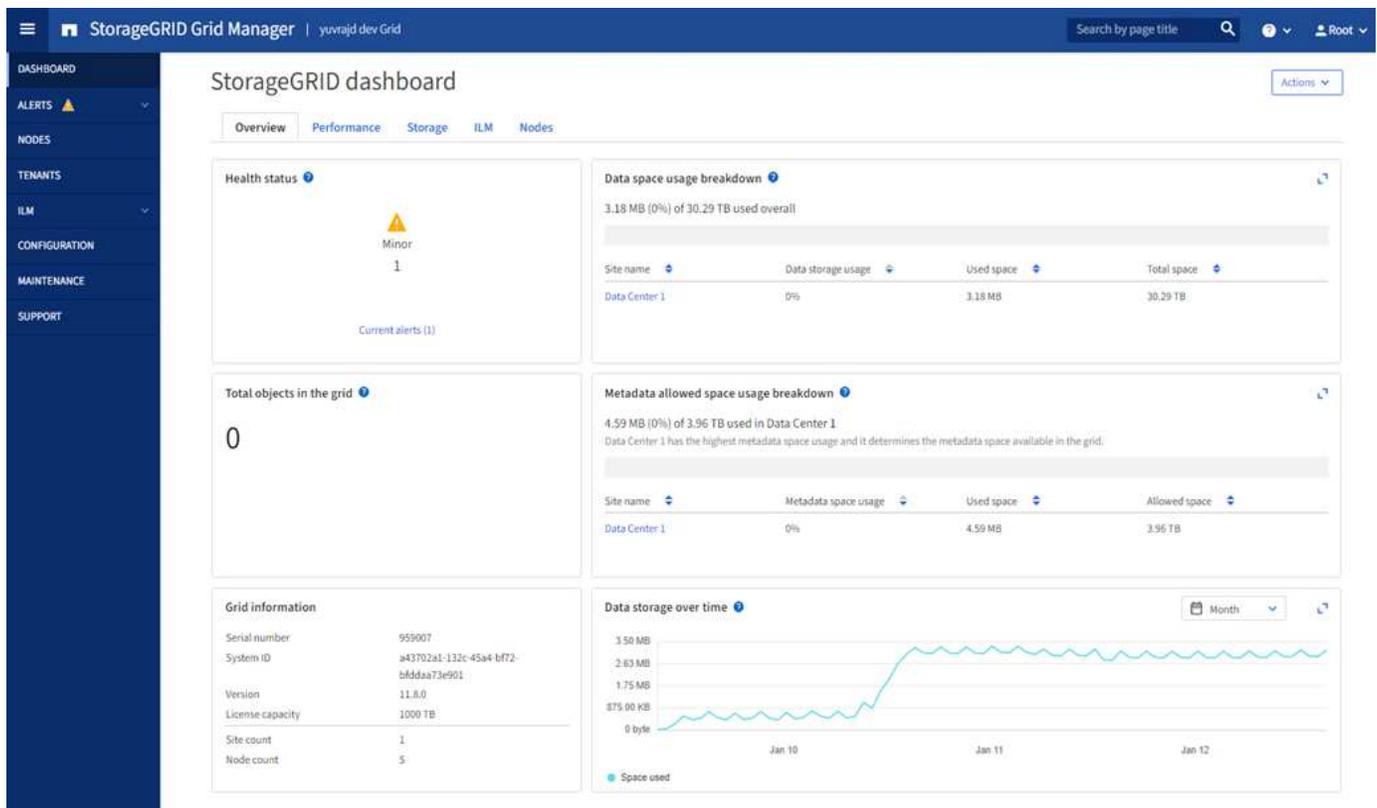
グリッド マネージャーにサインインすると、管理ノードに接続されます。各StorageGRIDシステムには、1つのプライマリ管理ノードと任意の数の非プライマリ管理ノードが含まれます。任意の管理ノードに接続することができ、各管理ノードにはStorageGRIDシステムの同様のビューが表示されます。

グリッドマネージャにアクセスするには、"[サポートされているウェブブラウザ](#)"。

## グリッドマネージャーダッシュボード

グリッドマネージャーに初めてサインインすると、ダッシュボードを使用して"[システムアクティビティを監視する](#)"一目でわかります。

ダッシュボードには、システムの健全性とパフォーマンス、ストレージの使用状況、ILM プロセス、S3 操作、グリッド内のノードに関する情報が含まれています。あなたはできる"[ダッシュボードを構成する](#)"システムを効果的に監視するために必要な情報を含むカードのコレクションから選択します。



各カードに表示される情報の説明については、ヘルプアイコンを選択してください そのカードのために。

## 検索フィールド

ヘッダーバーの検索フィールドを使用すると、グリッドマネージャー内の特定のページにすばやく移動できます。たとえば、「**km**」と入力すると、キー管理サーバー (KMS) ページにアクセスできます。

\*検索\*を使用して、グリッドマネージャーのサイドバーや、[構成]、[メンテナンス]、[サポート]メニューのエントリを検索できます。グリッドノードやテナントアカウントなどの項目を名前で検索することもできます。

## ヘルプメニュー

ヘルプメニュー  以下へのアクセスを提供します:

- その"[FabricPool](#)"そして"[S3のセットアップ](#)"魔法使い
- 現在のリリースのStorageGRIDドキュメントセンター
- "[APIのドキュメント](#)"
- 現在インストールされているStorageGRIDのバージョンに関する情報

## アラートメニュー

アラートメニューには、StorageGRIDの操作中に発生する可能性のある問題を検出、評価、解決するための使いやすいインターフェイスが用意されています。

アラートメニューから、次の操作を実行できます。"[アラートを管理する](#)":

- 現在のアラートを確認する
- 解決済みのアラートを確認する
- アラート通知を抑制するためにサイレンスを設定する
- アラートをトリガーする条件のアラートルールを定義する
- アラート通知用のメールサーバーを構成する

## [Nodes]ページ

その"[\[Nodes\]ページ](#)"グリッド全体、グリッド内の各サイト、およびサイトの各ノードに関する情報を表示します。

ノードのホームページには、グリッド全体の結合されたメトリックが表示されます。特定のサイトまたはノードの情報を表示するには、そのサイトまたはノードを選択します。

# Nodes

View the list and status of sites and grid nodes.

Search... Total node count: 14

Name	Type	Object data used	Object metadata used	CPU usage
StorageGRID Deployment	Grid	0%	0%	—
▲ Data Center 1	Site	0%	0%	—
✓ DC1-ADM1	Primary Admin Node	—	—	21%
✓ DC1-ARC1	Archive Node	—	—	8%
✓ DC1-G1	Gateway Node	—	—	10%
✓ DC1-S1	Storage Node	0%	0%	29%

## テナントページ

その"テナントページ"あなたにできるのは"ストレージテナントアカウントの作成と監視"StorageGRIDシステム用。オブジェクトを保存および取得できるユーザーと、そのユーザーが利用できる機能を指定するには、少なくとも1つのテナント アカウントを作成する必要があります。

「テナント」ページには、使用されているストレージの量やオブジェクトの数など、各テナントの使用状況の詳細も表示されます。テナントの作成時にクォータを設定した場合、そのクォータがどれだけ使用されたかを確認できます。

# Tenants

View information for each tenant account. Depending on the timing of ingests, network connectivity, and node status, the usage data shown might be out of date. To view more recent values, select the tenant name.

Create Export to CSV Actions Search tenants by name or ID Displaying 2 results

<input type="checkbox"/>	Name	Logical space used	Quota utilization	Quota	Object count	Sign in/Copy URL
<input type="checkbox"/>	S3 Tenant	0 bytes	<div style="width: 0%;"></div> 0%	100.00 GB	0	<a href="#">→</a> <a href="#">📄</a>
<input type="checkbox"/>	Swift Tenant	0 bytes	<div style="width: 0%;"></div> 0%	100.00 GB	0	<a href="#">→</a> <a href="#">📄</a>

← Previous 1 Next →

## ILMメニュー

その"ILMメニュー"あなたにできるのは"情報ライフサイクル管理 (ILM) のルールとポリシーを構成する"データの耐久性と可用性を管理します。オブジェクト識別子を入力して、そのオブジェクトのメタデータを表示することもできます。

ILM メニューから、ILM を表示および管理できます。

- ルール
- ポリシー
- ポリシータグ
- ストレージプール
- 保管グレード
- 地域
- オブジェクトメタデータ検索

## 設定メニュー

構成メニューでは、ネットワーク設定、セキュリティ設定、システム設定、監視オプション、アクセス制御オプションを指定できます。

### ネットワークタスク

ネットワーク タスクには次のものが含まれます。

- "高可用性グループの管理"
- "ロードバランサのエンドポイントの管理"
- "S3エンドポイントドメイン名の設定"
- "トラフィック分類ポリシーの管理"
- "VLANインターフェースの設定"

### セキュリティタスク

セキュリティ タスクには次のものが含まれます。

- "セキュリティ証明書の管理"
- "内部ファイアウォール制御の管理"
- "キー管理サーバーの構成"
- セキュリティ設定の構成"TLSおよびSSHポリシー"、"ネットワークとオブジェクトのセキュリティオプション"、そして"インターフェースのセキュリティ設定"。
- 設定を構成する"ストレージプロキシ"または"管理プロキシ"

## システムタスク

システムタスクには次のものが含まれます。

- 使用"[グリッドフェデレーション](#)"テナント アカウント情報を複製し、2 つのStorageGRIDシステム間でオブジェクト データを複製します。
- オプションで、"[保存されたオブジェクトを圧縮する](#)"オプション。
- "[S3 オブジェクトロックの管理](#)"
- ストレージオプションの理解"[オブジェクトセグメンテーション](#)"そして"[ストレージボリュームのウォーターマーク](#)"。
- "[消去コーディングプロファイルを管理する](#)"。

## 監視タスク

監視タスクには以下が含まれます。

- "[監査メッセージとログの送信先の設定](#)"
- "[SNMP監視の使用](#)"

## アクセス制御タスク

アクセス制御タスクには次のものが含まれます。

- "[管理者グループの管理](#)"
- "[管理者ユーザーの管理](#)"
- 変更する"[プロビジョニングパスフレーズ](#)"または"[ノードコンソールのパスワード](#)"
- "[アイデンティティ連携の使用](#)"
- "[SSO の設定中](#)"

## メンテナンスメニュー

「メンテナンス」メニューでは、メンテナンス タスク、システム メンテナンス、ネットワーク メンテナンスを実行できます。

## タスク

メンテナンス タスクには次のものが含まれます。

- "[廃止作業](#)"未使用のグリッドノードとサイトを削除する
- "[拡張事業](#)"新しいグリッドノードとサイトを追加する
- "[グリッドノードの回復手順](#)"故障したノードを交換してデータを復元する
- "[手順の名前を変更する](#)"グリッド、サイト、ノードの表示名を変更する
- "[オブジェクトの存在確認操作](#)"オブジェクトデータの存在（正確性ではない）を検証する
- 実行する"[ローリングリブート](#)"複数のグリッドノードを再起動する

- "ボリューム復元操作"

## システム

実行できるシステム メンテナンス タスクには次のようなものがあります。

- "StorageGRIDライセンス情報の表示"または"ライセンス情報の更新"
- 生成とダウンロード"リカバリパッケージ"
- 選択したアプライアンス上のソフトウェアアップグレード、ホットフィックス、 SANtricity OSソフトウェアのアップデートを含むStorageGRIDソフトウェアアップデートの実行
  - "アップグレード手順"
  - "修正プログラムの手順"
  - "Grid Manager を使用して SG6000 ストレージ コントローラ上のSANtricity OS をアップグレードする"
  - "Grid Manager を使用して SG5700 ストレージ コントローラ上のSANtricity OS をアップグレードする"

## ネットワーク

実行できるネットワーク メンテナンス タスクは次のとおりです。

- "DNSサーバの設定"
- "グリッドネットワークサブネットの更新"
- "NTPサーバの管理"

## サポートメニュー

「サポート」メニューには、テクニカル サポートがシステムを分析およびトラブルシューティングするのに役立つオプションが用意されています。

### Tools

サポート メニューのツール セクションから、次の操作を実行できます。

- "AutoSupportを構成する"
- "診断を実行する"グリッドの現状について
- "グリッドトポロジツリーにアクセスする"グリッドノード、サービス、属性に関する詳細情報を表示する
- "ログファイルとシステムデータを収集する"
- "サポート指標を確認する"



**Metrics** オプションから利用できるツールは、テクニカル サポートで使用することを目的としています。これらのツール内の一部の機能とメニュー項目は意図的に機能しないようになっています。

## アラーム (レガシー)

レガシーアラームに関する情報は、このバージョンのドキュメントから削除されました。参照 ["アラートとアラームの管理 \(StorageGRID 11.8ドキュメント\)"](#)。

## その他

サポート メニューのその他セクションから、次の操作を実行できます。

- 管理["リンクコスト"](#)
- ビュー["ネットワーク管理システム \(NMS\) "エントリー"](#)
- 管理["ストレージ透かし"](#)

## テナントマネージャーの詳細

その["Tenant Manager"](#)テナント ユーザーがストレージ アカウントを構成、管理、監視するためにアクセスするブラウザ ベースのグラフィカル インターフェイスです。



テナント マネージャーはリリースごとに更新されるため、このページのサンプル スクリーンショットと一致しない場合があります。

テナント ユーザーがテナント マネージャーにサインインすると、管理ノードに接続します。

## テナントマネージャーダッシュボード

グリッド管理者がグリッド マネージャまたはグリッド管理 API を使用してテナント アカウントを作成すると、テナント ユーザーはテナント マネージャにサインインできるようになります。

テナント マネージャー ダッシュボードを使用すると、テナント ユーザーはストレージの使用状況を一目で監視できます。ストレージ使用量パネルには、テナントの最大のバケット (S3) またはコンテナ (Swift) のリストが含まれています。使用済みスペースの値は、バケットまたはコンテナ内のオブジェクト データの合計量です。棒グラフは、これらのバケットまたはコンテナの相対的なサイズを表します。

棒グラフの上に表示される値は、テナントのすべてのバケットまたはコンテナに使用されているスペースの合計です。アカウントの作成時にテナントに使用可能なギガバイト、テラバイト、またはペタバイトの最大数が指定されている場合は、使用済みおよび残りのクォータの量も表示されます。

# Dashboard

**16** Buckets  
View buckets

**2** Platform services endpoints  
View endpoints

**0** Groups  
View groups

**1** User  
View users

## Storage usage [?](#)

6.5 TB of 7.2 TB used

0.7 TB (10.1%) remaining



Bucket name	Space used	Number of objects
Bucket-15	969.2 GB	913,425
Bucket-04	937.2 GB	576,806
Bucket-13	815.2 GB	957,389
Bucket-06	812.5 GB	193,843
Bucket-10	473.9 GB	583,245
Bucket-03	403.2 GB	981,226
Bucket-07	362.5 GB	420,726
Bucket-05	294.4 GB	785,190
8 other buckets	1.4 TB	3,007,036

## Top buckets by capacity limit usage [?](#)

Bucket name	Usage
Bucket-10	82%
Bucket-03	57%
Bucket-15	20%

## Tenant details [?](#)

Name: Tenant02  
ID: 3341 1240 0546 8283 2208

- ✓ Platform services enabled
- ✓ Can use own identity source
- ✓ S3 Select enabled

## ストレージメニュー (S3)

ストレージメニューは、S3 テナント アカウントにのみ提供されます。このメニューを使用すると、S3 ユーザーはアクセス キーを管理したり、バケットを作成、管理、削除したり、プラットフォーム サービスのエンドポイントを管理したり、使用を許可されているグリッド フェデレーション接続を表示したりできます。

### アクセスキー

S3 テナント ユーザーは次のようにアクセス キーを管理できます。

- 独自の S3 認証情報の管理権限を持つユーザーは、独自の S3 アクセスキーを作成または削除できます。
- ルートアクセス権限を持つユーザーは、S3 ルートアカウント、自分のアカウント、および他のすべてのユーザーのアクセスキーを管理できます。ルート アクセス キーは、バケット ポリシーによって明示的に無効にされていない限り、テナントのバケットとオブジェクトへのフル アクセスも提供します。



他のユーザーのアクセス キーの管理は、[アクセス管理] メニューから行います。

### バケット

適切な権限を持つ S3 テナント ユーザーは、バケットに対して次のタスクを実行できます。

- バケットを作成する

- 新しいバケットに対して S3 オブジェクト ロックを有効にします ( StorageGRIDシステムに対して S3 オブジェクト ロックが有効になっていることを前提としています)
- 一貫性値を更新する
- 最終アクセス時間の更新を有効または無効にする
- オブジェクトのバージョン管理を有効化または停止する
- S3 オブジェクトロックのデフォルト保持を更新
- クロスオリジンリソース共有 (CORS) を構成する
- バケット内のすべてのオブジェクトを削除する
- 空のバケットを削除する
- 使用"[S3 コンソール](#)"バケットオブジェクトを管理する

グリッド管理者がテナント アカウントに対してプラットフォーム サービスの使用を有効にしている場合は、適切な権限を持つ S3 テナント ユーザーも次のタスクを実行できます。

- Amazon Simple Notification Service をサポートする宛先サービスに送信できる S3 イベント通知を構成します。
- CloudMirror レプリケーションを構成します。これにより、テナントがオブジェクトを外部の S3 バケットに自動的に複製できるようになります。
- オブジェクトが作成、削除されるか、またはそのメタデータまたはタグが更新されるたびに、オブジェクトのメタデータを宛先検索インデックスに送信する検索統合を構成します。

## プラットフォームサービスのエンドポイント

グリッド管理者がテナント アカウントに対してプラットフォーム サービスの使用を有効にしている場合、エンドポイントの管理権限を持つ S3 テナント ユーザーは、各プラットフォーム サービスの宛先エンドポイントを設定できます。

## グリッドフェデレーション接続

グリッド管理者がテナント アカウントのグリッド フェデレーション接続の使用を有効にしている場合、ルート アクセス権限を持つ S3 テナント ユーザーは、接続名を表示し、クロス グリッド レプリケーションが有効になっている各バケットのバケット詳細ページにアクセスし、接続内の他のグリッドにバケット データがレプリケートされているときに発生した最新のエラーを表示できます。見る"[グリッドフェデレーション接続を表示する](#)"。

## アクセス管理メニュー

「アクセス管理」メニューを使用すると、StorageGRIDテナントはフェデレーション ID ソースからユーザーグループをインポートし、管理権限を割り当てることができます。StorageGRIDシステム全体でシングル サインオン (SSO) が有効になっていない限り、テナントはローカル テナント グループとユーザーを管理することもできます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。